

「4月度研修会」の報告について

修習技術者支援実行委員会 委員補佐
高橋健一 技術士（建設部門）

1. 研修会 / 先端研概要

日時 平成 21 年 4 月 11 日（土）
13:00～19:30

主催 社団法人日本技術士会
修習技術者支援実行委員会

会場 荻手ビル5階 AB 会議室
（懇親会 CD 会議室）

2. 研修会 / 先端研の構成

開催説明・講師紹介 修習技術者支援実行委員会	13:00～13:10 高橋健一
講演 『『おもしろそ～』を 忘れずに』- 技術者の一歩手前 に戻って考えてみよう - 技術士〔総合技術監理/建設/ 応用理学/環境〕	13:10～14:20 鳥居直也
講演 「経済社会における環境保 全と技術者」- 自然環境の原点 から新しい価値観を考える - 技術士〔総合技術監理/環境/ 建設〕	14:40～16:00 赤澤 豊
第 268 回先端複合技術研究会 司会	16:20～18:00 笹尾圭哉子
懇親会	18:00～19:30

3. 研修会の申し込み経過について

研修会 2 週間前の段階で申込者数は 44 名であった。しかし、1 週間前になるとその数は 70 名に達し、やむを得ず申し込み受付を締め切るといった状況となった。この結果については、一次試験合格者・JABEE 修了見込者ガイダンス、メール、HP 等でのアナウンスが功を奏したこと、また、講師のネームバリューもあったことで、上記のような結果になったと考えられる。

4. 研修会状況について

研修会当日は、受講申し込みから 20% 程度の欠席があったものの、委員会スタッフも 10 名を超えての参加があったことで会場は満席となった。そのため、座席は 1 テーブル 3 人で対応することとした。



写真 1 . 研修会状況

◆ 講演 1 について

鳥居講師の講演でまず目を引くのは、その演題にあると思う。普段行っている業務の中で、“おもしろそ～”とか“なるほど！”といった感動が最近あっただろうか？と考えさせられた。これらは、技術者として業務を行う上での原点ではないかと思われる。そういったことを実に冷静かつ力強く語られていた。また、午後 1 番からの講演とは言え、居眠りをする受講者は見回した限り一人もいなかったことから、充実した講演内容であったのではないかとと思われる。

ほかにも講師の話して興味深かったことは数多くあるが、中でも次のような言葉が印象的だった。

『“組織の中の自分”ではなく、“さんがいるからあの会社に頼もう”と言われるようにならなければならない』

それには公共の責任感を持ち、ユーザーの視点に立ち、そして経営感覚を併せ持った技術者であること。また、それらを支えるものは『技術力』ということだった。



写真 2 . 鳥居講師

◆ 講演 2 について

赤澤講師からは、講演のはじめに次のような指導があった。

『今日は細かい知識の習得の部分については自分でやってほしい。できるだけ話しの雰囲気を感じ取ってもらいたい。』

しかしながら、赤澤講師は、この講演のために数多くのデータ収集と資料を作成され、自分の発言に明確な根拠を示そうとされていた。今回の参加者には、そういった“数字で示そうとした講師の技術士としての姿勢”を見習ってほしいと感じた。先に講演された鳥居氏にも『この力の入れようの違いは何?』と言わせたほどであった。



写真 3 . 赤澤講師

5 . 懇親会について

懇親会は研修会 / 先端研受講者の中から 39 名、講師とスタッフあわせて 12 名という大人数であったため、AB 会議室で先端研が行われている間に、空いた CD 会議室で準備を行った。

懇親会のほとんどの時間を自己紹介が占めてしまったため、この後は神谷町駅近へ場所を移し 20 名を超える懇談会が行われた。



写真 4 . 懇親会状況

4 月度研修会 / 先端研の報告

6 . 研修会の考察

平成 20 年 2 月に担当した際には“エネルギー”“情報”“生物”を主体とした研修会であったためか、機械、情報工学、化学、電気電子といった部門の参加者が目立っていた。今回は、鳥居講師の技術士部門が『建設 / 応用理学 / 環境 / 総合技術監理』、赤澤講師は『建設 / 環境 / 総合技術監理』であったことも影響しているのか、図 - 1 に示すように建設、環境といっ部門からの申込があった。

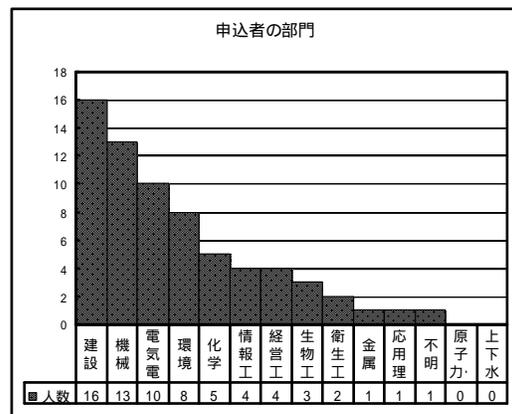


図 - 1 . 申込者の部門

また、申込者の構成としては図 - 2 のとおり。今回は、小林委員長の情報によると技術士が 9 名、2008 年 JABEE 認定課程修了者が 1 名参加しているということであった。技術士制度説明会の効果の現れであることを今後も期待したい。なお、申込者の平均年齢は 38.6 歳であった。

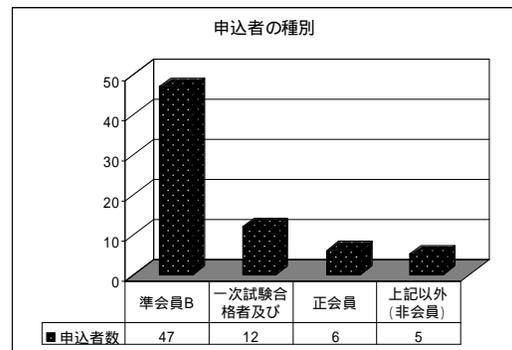


図 - 2 . 申込者の種別

以上